

## 2022 年度事業報告

ロシアのウクライナ攻撃に始まった戦争はいまだ決着がつかず、被害は拡大し罪のない多くの人たちの命を奪っています。さらに中東では相変わらず紛争が続き、加えてトルコ・シリアの大地震の被害では多くの命を失い、平和な社会の実現は程遠くなっています。さらに日本の現政権はアメリカに追随して戦争のできる準備を着々とすすめています。こんな時だからこそ、一人一人が関心をもたなくてはならないと思い、毎月1日の日を「核廃絶デー」として広報をしながら売上げを核廃絶の活動に繋げるようにしました。日常的に、地域やアジアの人たちと顔の見える関係づくりを実践している私たちは、今こそ対話による平和構築を求めていきたいと思えます。

コロナ感染の中、ショップが地域拠点となり、地域の人たちの集う場という価値がある以上、コロナ防止に留意しながら徐々に通常の活動に戻り、以下の事業を進めました。

- ① 核兵器廃絶の活動を「KNOW NUKES TOKYO」の若者たちと進めました。
- ② SDGs キャラバンに取り組み、日常生活の中からSDGsの意義を確認しました。
- ③ WE21 厚木の視察からショップの在り方を再検討し、領家のリニューアルや日計表などの改定をしました。
- ④ 認定NPOの更新年度となり、取り組みました。
- ⑤ 3店舗ともにインスタグラムに取り組み、随時発信をしました。
- ⑥ 資源の循環を進めました。

### 1. 資源のリユース・リサイクルを推進する事業

#### 1)事業の推進

コロナ感染3年目となり、社会全体がこの状況を受け入れながら生活する空気になってきました。状況に応じて、3店舗協力してイベントなどを企画・実施しました。

また資源環境の拠点として資源の有効活用に取り組み、地域にアピールをしました。

(金額はすべて消費税抜きです)

(1)中田店：実績 4,466,816 円 目標額 4,300,000 円 達成率 103.9 %

(昨年度 4,480,462 円、前年比 99.7%)

- ① ボランティアが増えて活気づきました。
  - ・7月から通信制の大学に通う21歳の学生さんがボランティアに加わりました。
  - ・8月～9月、ボランティアが復帰しました。
  - ・昨年4月からワーカーズコレクティブ協会より就労準備支援として受け入れていた女性は、終了後はボランティアで関わっていましたが、ショップでの経験が活かされて、就労に結びつきました。
- ② パンツ、スカート 200 円は毎月開催することによりお客さまに周知され、売上に繋がりました。
- ③ 1か月のスケジュールをチラシにして店内で配布し、他店にも依頼しました。1か月の取り組みがみんなと共有することができ、売上げに繋がりました。

- ④ ショップの販売と作業スペースを裏に分けるなどボランティアと確認をしながら、動きやすい動線にしました。
- ⑤ 2023年2月に WE21 ジャパンのインターン研修生のショップ体験を受け入れました。
- ⑥ 2月よりInstagramに取り組みました。投稿した陶器は製作者よりメッセージがありました。SNSの効果を改めて認識しました。

(2) 領家店：実績 4,295,753 円、目標額 4,300,000 円、達成率 99.9%

(昨年度 4,169,952 円、前年比 103%)

- ① 1人スタッフの為、ボランティアが積極的に活動し、ショップをスムーズに運営することが出来ました。
- ② ショップ事業の向上を目指し、9月に大々的なリニューアルを行いました。
  - ・明るく、綺麗で、見やすい店内になって売り上げも上がり、ボランティアの士気も高まりました。
  - ・リニューアルオープンに際し、チラシを地域に計画的に撒くことが出来ました。
- ③ 萩丸店からの衣類や雑貨を循環させて、新しい物を出す事ができました。
- ④ SDGsに関連して、店内でミツロウラップ作りを2回開催しました。関心の高さがわかり、今後も継続してミツロウラップを広めていきます。
- ⑤ ショップのInstagramを始め、広く広報活動ができるようになりました。

(3) 萩丸店：実績 4,215,736 円、目標額 4,180,000 円、達成率 100.9%

(昨年度 3,876,058 円、前年比 108.7%)

- ① スタッフ不在のため、ボランティアで責任を持ってショップ運営をしました。
- ② 1か月売上目標 35 万円をめざし、毎月様々なフェアやセールを行い楽しいショップづくりに努めました。
- ③ 物流の拠点としての役割を果たせるよう努め、ショップ間の物流拠点となりました。
- ④ 着物フェアは昨年同様のやり方で開催しました。フェア後も和室はしばらくの間、着物を展示販売しましたが、在庫や着物の在り方に課題が残りました。第1、第3、第5土曜日は和物半額とし、リメイク好きの方が多数購入されました。
- ⑤ 20代～80代までのボランティアが得意分野を生かし、ショップ事業に取り組みました。新しいボランティア、復帰したボランティア、横浜市就労準備支援から2人、共同の家プランから数人のボランティア参加あり、特に若い女性たちが力をつけていきました。
- ⑥ 農産物（大豆・切干大根）を販売して寄付に繋げました。
- ⑦ Instagramをはじめました。随時イベントなどを発信しています。

## 2) ボランティアミーティングの開催

### ① 中田

- ・3回開催しました。(4/4、6/27、12/10)
- ・コロナ禍の大変な時期にも関わらず、10～12名の参加がありました。
- ・月次報告、今後のショップのイベント内容の確認と意見交換をしました。

- ・感染対策（消毒、マスク着用）の重要性を再度確認しました。

## ②領家

- ・3回開催しました（6/1、9/28、1/10）
- ・延べ19人の参加があり、9/28は接客ワークショップを実施して接客の共通認識を持ちました。
- ・今年は日を定め、参加型のミーティングを行いました。
- ・それぞれの回でボランティアさんから活発な意見が出て、有意義な話し合いができました。

## ③萩丸

- ・3回開催しました（8/5、10/7、12/26）
- ・延べ23人の参加がありました。
- ・普段会えないボランティアと会えるなど交流の機会になりました。
- ・伝達がスムーズにいかないという意見から、連絡ノートを用意して、みんなと情報を共有することができました。

【期間】 通年

【場所】 泉区内のWEショップ中田店・領家店・萩丸店

【対象者】 主に泉区の市民

【事業高】 事業総額 12,978,305円 （目標額計 12,780,000円 達成率 101.6%）

## 2. アジア等における市民、とりわけ女性の生活の向上と自立のための活動を支援する事業

- ① ロシアのウクライナ攻撃に対して店頭募金を集め、国際NGOのADRAジャパンに支援しました（104,866円）。
- ② 核兵器禁止条約締約国会議に参加する「KNOW NUKES TOKYO」の若者たちと交流し、ウイーン会議に参加する渡航費の一部を支援しました（20万円）。
- ③ 毎月1日の売り上げを「KNOW NUKES TOKYO」に寄付し、ともに核兵器廃絶に取り組みました。（計336,826円）
- ④ クリスマス時期には、地球市民ACTかながわの手工芸品を販売し、ミャンマーの女性たちの生活向上の支援をしました（24,780円）。
- ⑤ 2月のトルコ・シリアの大地震被害に対して緊急支援に取り組みました。現在も継続中です。
- ⑥ 継続事業として、以下のプログラムを支援しました。  
支援検討に際しては、各団体の説明会や意見交換会に参加しました。
  - ・地雷廃絶日本キャンペーン（12万円）：ミャンマーの国内避難民と地雷犠牲者支援
  - ・ジュマ・ネット（12万円）：チッタゴン丘陵の国内避難民緊急支援
  - ・緑の芽有機農業学校（12万円）：カンボジアで有機栽培を通してゆたかで幸福なコミュニティの構築

【期間】 通年

【場所】 泉区内の WE ショップ中田店・領家店・萩丸店

【対象者】 ウクライナ、トルコ、カンボジア、ミャンマー、バングラデシュなどの社会的に立場の弱い市民たち

【事業高】 1,026,472 円

### 3. 地域市民の国際的な意識の自覚を促進する事業

#### 1) キャンペーン事業

広報に力を入れて広く市民の語り掛け、以下のキャンペーンに取り組みました。

##### ① 貧困なくそうキャンペーン（世界の貧困について学ぶ）

今年度も DV 被害者の自立を支援している NPO 法人共同の家プアンに寄付をしました。実施に先立ち、常勤スタッフによる事業報告会を開催し、女性たちの置かれている立場や課題について学習しました。

【期間】 10 月 1 日～30 日

【場所】 泉区内の WE ショップ中田店・領家店・萩丸店

【対象者】 主に泉区の市民

【事業高】 230,474 円

##### ② 愛のチョコ募金キャンペーン（放射能などを含めた核と子どもの影響について知る）

ジム・ネットの長谷部貴俊さんを招いて事前学習会を開催して現状報告を受け、ショップ内で広報しながら販売しました。

【期間】 12 月 1 日～2 月 10 日

【場所】 泉区内の WE ショップ中田店・領家店・萩丸店

【対象者】 主に泉区の市民

【事業高】 117,474 円

##### ③ 東日本震災キャンペーン（震災・津波・原発被害を知る）

ショップの売り上げ募金は NPO 法人 3.11 甲状腺がん子ども基金に寄付をしました。また、常時東北地方の生産者を支援する物産販売にも取り組みました。評判も良く定着してきました。

【期間】 3 月 1 日～25 日

【場所】 泉区内の WE ショップ中田店・領家店・萩丸店

【対象者】 主に泉区の市民

【事業高】 222,735 円

##### ④ SDGs キャンペーンを実施しました。世界的に SDGs の意識が高まるなか、日常生活を見

直すために、プラスチック汚染が環境に与える影響などについて広報をしました。また、3 ショップでみつろうラップのワークショップを開催し、大変好評でした。

支 援 団 体	支 援 金 額	助 成 対 象 の 事 業 等	点 検 評 価
特定非営利活動法人 地雷廃絶日本キャンペーン	120,000 円	ミャンマーの国内避難民 と地雷犠牲者支援	継続してミャンマーの状況を 発信し、避難民を支援してい る
ジユマ・ネット	120,000 円	チッタゴン丘陵の国内避 難民緊急支援	緊急支援として人道的な支援 の必要性がある
緑の芽有機農業学校	120,000 円	有機栽培を通して「ゆた かで幸福なコミュニティー の構築	カンボジアで若者の人材育成 により自立可能な地域づくりを 実践している
KNOW NUKES TOKYO	200,000 円	核禁止条約締約国ウイ ーン会議参加経費	学生たちがウイーン会議へ参 加し情報を発信し、国際的な 連携を図っている
KNOW NUKES TOKYO	336,826 円 (募金 30,000 円)	平和な社会を作るために 核廃絶に向けた活動	政策提言活動も含めて、多様 な活動を実践している
特定非営利活動法人 ADRA ジャパン	104,866 円 (募金)	ウクライナ緊急支援	ロシアのウクライナ攻撃により 日常生活を破壊された人々の 緊急支援
特定非営利活動法人 日本イラク医療支援ネットワーク (JIM-NET)	117,474 円 (募金)	チョコ募金を通してイラク・ シリア・福島の子どもたち への支援	子供たちの医療ケアだけでなく 家族のサポートも実施してい る
Act for Child	24,780 円	タイ・ミャンマーの女性たち の生活向上を図る	継続して女性や子どもの支援 を実践している
特定非営利活動法人 共同の家プラン	230,474 円 (募金 29,295 円)	DV 被害者の自立支援	暴力を受けた女性たちに対し て一人一人の自立に応じたサ ポートを実践している
特定非営利活動法人 3.11 甲状腺がん子ども基金	222,735 円	原発事故で被害を受けた 甲状腺がんの治療費支援	治療費支援だけでなく家族の サポートを実践している

## 2) 共育事業

コロナ感染の状況を見ながら、報告会などを開催しました。

- ① 核兵器廃絶締約国会議参加の渡航費を支援した「KNOW NUKES TOKYO」の高橋悠太さんと徳田悠希さんによる報告会を開催しました (9/10 参加者 32 人)。

今まで知る機会の少なかった核兵器の現状と禁止条約について理解が深まりました。

- ② ジム・ネットの長谷部貴俊さんにイラクの子どもたちの現状について聞きました。

(11/14 参加者 10 人)

【期間】 4月1日～3月31日

【場所】 泉区内の WE ショップ中田店・領家店・萩丸店

【対象者】 主に泉区の市民

【事業高】 30,405 円

### 3) ネットワーク事業（招聘事業）

WE21 ジャパンのコーディネーターで慶尚南道自活センターのセンター長 2 人が来訪し、交流をしました。今後も継続した交流の必要性を感じました。

【期間】 10月28日

【場所】 泉区内の WE ショップ中田店・領家店・萩丸店

【対象者】 主に泉区の市民

【事業高】 16,634 円

### 4) フェアトレード事業

①ジンジャーパウダーやクッキー、コーヒーなど支援先の情報を提供しながらフェアトレードについて理解を深める「フェアトレードまつり」を開催し、販売に力を注ぎました。

②常時東北の物産などを販売して、生産者の支援に繋がりました。

【期間】 4月1日～3月31日

【場所】 泉区内の WE ショップ中田店・領家店・萩丸店

【対象者】 主に泉区の市民

【事業高】 551,536 円

### 5) 資源循環事業

日常的に廃油、羽毛布団、白地木綿の回収に取り組みました。また、売れ残った雑貨が廃棄（焼却）され、また WE21 のシステムの陶器回収も限界が見えたため、新たなリユース先としてタイへの輸出を扱う「侍プロジェクト」に参加しました。

廃油の回収量：940 kg

### 6) ネットワークを広げて、問題解決を図りました。

①国内の貧困を視野に入れてフードドライブに取り組み、地域のネットワークを広げました。

日常的に収集箱を設置しているので、地域の人たちの関心は高く、2 か所に寄付をしています。

②「KNOW NUKES TOKYO」に支援した他地域 NPO と連携して、報告会キャラバンを実施しました（6回開催）。

③生活クラブ泉コモンズと連携して核廃絶の学習会を開催しました。

#### 4. 事業の広報普及を図る事業

##### 1) 広報紙やショップチラシを充実させ、発行しました。

- ・ 広報担当者を中心に、イベントやセールちらし、販促グッズをタイムリーに作成することができ、売りに貢献しました。広報誌は2回発行しました。
- ・ 積極的に広報活動に取り組み、特に区主催の研修に参加し、活動アピールチラシを作成して区役所に展示しました。
- ・ 提供品と環境問題としてショップ活動を広報するチラシを2万枚作成し、3ショップエリアを戦略的にまきました。

##### 2) HP を充実させました。

3ショップの情報と非営利の活動について、常にHPに掲載して情報を提供しました。また、インスタグラムに取り組み、ショップの情報を随時発信しました。

【期間】 4月1日～3月31日

【場所】 泉区内

【対象者】 主に泉区の市民

【事業高】 266,921円